

感染性産業廃棄物の専用焼却施設

〔技術・製品の概要と特徴〕

感染性産業廃棄物を一時保管から荷受・投入・焼却まで人手を掛けずに取り扱えるようにした専用焼却施設。

医療廃棄物は密閉容器に入れられて収集・運搬され、焼却炉へは容器のまま投入される。これが原因で炉内の燃焼温度が大幅に振れるが、ロータリーキルンとストーカ炉の採用により均一な燃焼を実現。さらに、有害物質が付着した飛灰、消石灰および活性炭などの粉塵を除去するのにセラミックフィルターを採用している。



〔用途〕

- (1) 感染の恐れがある産業廃棄物の処理施設
- (2) その他の医療廃棄物の処理施設
- (3) 廃油・廃酸・廃アルカリの処理施設

〔希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域〕

- (1) 共同研究開発、応用開発委託、生産委託
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内・海外いずれでもよい

〔開発段階〕

- 製造・販売実績 (有)
関連特許 (有)

〔提供可能資料など〕

技術資料